

令和元年度学校関係者評価シート(年度末評価)

令和2年2月 26 日

校番	20	学校名	広島県立加計高等学校	校長氏名	工藤 宏一	全・定・通	<input checked="" type="checkbox"/> 分
----	----	-----	------------	------	-------	-------	---------------------------------------

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	A	<p>校訓を踏まえ、地域・保護者に支えられ、ともに歩む加計高校の目指すところを表している。計画についても具体的で着手、実行しやすいものとなっている。</p> <p>生徒の自主性、学校への信頼度、学校と地域の結びつきなどを重視した目標設定がなされている。</p> <p>生徒の実態を考慮した適切な目標等が設定されている。</p>
計画の進捗状況の評価の適切さ	A	<p>生徒の自主性、企画力の向上が適切に評価されている。</p> <p>それぞれの計画に沿った評価が適切にされている。</p>
目標達成に向けた取組の適切さ	A	<p>生徒の企画力の向上、進路目標の実現、国際交流、ボランティア活動等の取組は適切かつ効果的である。</p> <p>家庭学習の定着は、小・中学校でも共通の課題であり、中学校でも取組を踏まえ、改善に生かしたい。</p> <p>目標達成に向けて、細かな取組がなされている。</p> <p>学校全体で、目標達成に向けた取組がされている。</p>
評価結果の分析の適切さ	A	<p>評価結果の分析と生徒や学校の状況が合致しており、適切である。</p> <p>指導結果を適切に分析し、さらなる指導へ繋げている。</p>
今後の改善方策の適切さ	A	<p>個別面談、個別指導による家庭学習の定着、さらに進路実現に向けて引き続き取組をお願いしたい。また、公開研究授業について、小・中学校への呼びかけもお願いしたい。</p> <p>分析に基づいた改善方策であり、直ちに実行可能な方策となっている。</p>
総合評価	A	<p>教育目標と目指す生徒像に、今の加計高校生が自らの目標として進んでいこうとしており、それを支える教職員の組織力が機能している。</p> <p>地域との連携などから、生徒の自主性や柔軟性などが育まれていると感じている。</p> <p>生徒の主体的な地域への貢献活動が、加計高校への信頼感を高め、中学生の目標となる加計高校生の存在が、地元率を向上させている。</p> <p>ボランティア活動、国際交流、探究学習等に積極的に取り組み、生き生きとした生徒の姿が見えている。</p> <p>GIGA スクール、Society.5.0、ICT 教育といわれる中、積極的に推進されたい。</p> <p>現在、出来得ることを全力で取り組む姿勢が素晴らしい。</p>